

つばくろロボキッズ教室から WRO Japan 新潟地区予選会に4チームが出場！

－ 吉田産業会館を会場に、今年も燕市で開催されます －

令和2年度より、小学校でプログラミング教育が必修化されました。燕市では、必修化に先駆けて平成31年度から、より学習を深めたいと希望する児童を対象とした、つばくろロボキッズ教室を開催しています。これまで身につけた知識をフル活用し、より高度なプログラミングに挑戦したいと希望する児童4チーム12名が、地元燕市で開催されるWRO Japan 新潟地区予選会へ出場します。予選会で優秀な成績を収めたチームは、8月に東京で開催されるWRO Japan 決勝大会へ出場できます。

【WRO Japan 2023 新潟地区予選会の概要】

1.日時：令和5年7月22日（土）10：00～16：10

2.会場：吉田産業会館 多目的大ホール

3.参加チーム：県内の小・中・高校生 全14チーム
(つばくろロボキッズ教室からは4チーム<計12名>が参加。)

4.大会(ミドル競技)の内容

WRO レギュラーカテゴリの1つで、ロボット製作の中級者を対象とした競技であり、エレメンタリー（小学生）部門、ジュニア（中学生）部門、シニア（高校生）部門に分かれ、ロボットの製作やプログラム制御の基礎技術を競い合います。毎年、ミッション(ルール)が変わり、大会当日発表される「サプライズルール」をクリアすると、全国大会への道が開けます。いかにオブジェクトを速く迅速に移動させるかが勝敗のカギとなります。

※WROとは、World Robot Olympiadの略。2004年にスタートした自律型ロボットによる競技会。科学技術体験を通して、世界中の小・中・高校生の創造性と問題解決力の育成を目指している。日本では、2008年NPO法人WRO Japanが設立、国内の競技会を運営している。競技には、エキスパートとミドルがあり、それぞれ小・中・高校生部門に分けられている。今年度よりミドル競技も世界大会に進むことができるように。エキスパート競技では、過去3回新潟地区のチームが世界大会まで進出している。



前回大会の様子

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先

燕市教育委員会学校教育課：関根、岡田（彩）

電話：0256-77-8191（直通）